

鳴海周平の

# ぶらり旅

香川県小豆島編

高松港からフェリーで約1時間。「日本の地中海」とも呼ばれる瀬戸内海の小豆島は、その昔、弘法大師空海も訪れた「世界屈指のエネルギースポット」としても知られています。

1年を通じての温暖な気候に加え、日本三大渓谷美の「寒霞溪」に代表される風光明媚な自然環境、400年の伝統を誇る「醤油製造」やオリブ、オレジンなどの豊かな食文化、海の幸や山の幸など旬の食材も豊富な小豆島は、まさに「癒しの楽園」です。

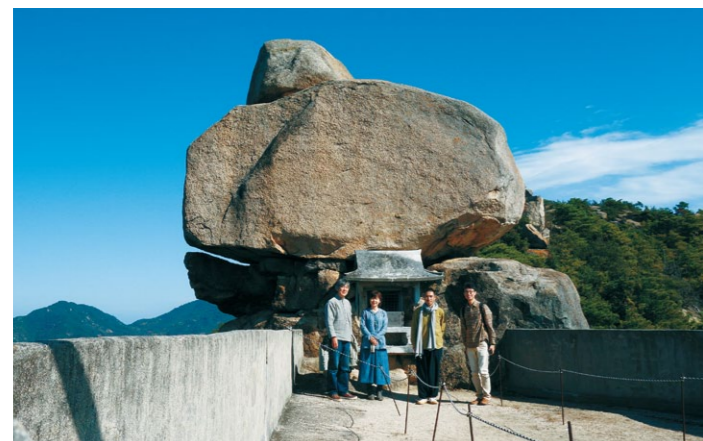
2015年の夏から続いている「祈りの旅」の一環として、前日に「剣山」を訪ねていた長典男さん、高麗加緒里さん、滝沢泰平さんと私の4人は、そのエネルギーの流れを汲む小豆島へと渡ったのでした。





渦巻き状の雲や龍のような雲、鳳凰のような雲などがあらわれた夕方の景色は、さまざまなエネルギー体が集う小豆島のひな形を示しているようでした。

左上から長勝寺奥之院 西之瀧、江洞窟 西光寺、西光寺のご住職・宮城英徹さんと。右は西之瀧からの風景と彩雲。



小瀬石鎚神社のご神体「重ね岩」の前で。今年度もこのメンバーで全国を巡ります。

11月13日早朝の小豆島。  
どこかで聴いたことのある「音」が目  
が覚めました。  
耳のすぐ側で蚊が飛んでいるような  
その「音」は、9月25日の早朝にも  
諏訪湖畔で聴いた音で、すぐに「天使  
のラッパ」というメッセージが浮かんでき  
たのがとても印象に残っていました。  
天使のラッパは『ヨハネの黙示録』  
にある、新しい時代の到来を告げる  
合図。  
音は周波数が、段階を経て変化し  
ていることは「新しい時代」へ移行する  
ために必要となる、私たちの「意識の  
変容」を促してくれるものでした。

いつものように「何となく、ここが氣  
になるね」という直感に任せて、4人で  
協議をしながら目的地を決めていき  
ます。  
「やっぱり小豆島は、どこへ行っても空海  
さんのエネルギーを強く感じますね」  
元高野僧の長典男さんにリードし  
ていただき、土庄港から江洞窟、小瀬  
石鎚神社の重ね岩、長勝寺奥之院西  
之瀧を訪ねます。  
江洞窟の中にある、大日如来を表  
す「あ」の梵字が刻まれた玉石や、弁  
天堂の祠へ太陽が当たるとにできる  
という「光の輪」、誰がどうやって置いたか  
わからない小瀬石鎚神社の重ね岩、  
空海がエネルギーを封印したと云う  
「石壺」が祀られている長勝寺奥之院  
西之瀧。  
すべてのスポットが、空海のエネル  
ギーと深く関係しているようです。  
「空海さんがつくった四国の八十八ヶ所  
は、どちらかというところ『結界』の意味合  
いが強いのですが、この島の八十八ヶ所  
は『人の幸せ』を願う意味合いが強い  
んです。どこを訪ねても、とてもやさ  
しいエネルギーが伝わってきますよね」  
港に着いた時から全員が感じてい  
た何とも言えない「安堵感」は、時を  
超えて届く空海さんの想いの反映だっ  
たんですね。

世界各地を巡る「祈りの旅」は、滝沢泰平さんの「天下泰平」ブログ、  
鳴海周平オフィシャルサイト「魂の紀行」ブログでも随時紹介され  
ています。

**「天下泰平」ブログ** <http://tenkataihei.xxxblog.jp/>  
**「魂の紀行」ブログ** <http://narumi-shuhei.com/blog/>

「祈りの旅」メンバーの4人で、旅の報告を兼ねた講演会を全国で開催中です。  
スケジュールは、やつはさん、エヌ・ピュアのホームページでご確認ください。

**やつは株式会社** <http://www.yatsuha.com/>  
**株式会社エヌ・ピュア** <http://npure.co.jp/>

小豆島の各スポットで、イメージの中  
にあらわれた「X↓十↓米」の形も  
また、今までの旅で度々示された  
「融合・統合・調和」をあらわすマーク。  
「癒しの楽園」に空海さんが遺して  
くれたさまざまな証は、時代を超え  
て、必然のタイミングであらわれた「新  
しい時代の到来」を告げるサインだっ  
たようです。



風光明媚な景色と、オレンジやオリーブなどの豊かな農産物も、小豆島の魅力です。